



## Le Calcinaie

### レ・カルチナイエ

地域：Toscana トスカーナ

地区、村：San Gimignano サン・ジミニャーノ

醸造・栽培責任者：Simone Santini シモーネ・サンティーニ

HP: <http://www.tenutalecalcinaie.com/>

<https://marcdegrazia.com/producers/le-calcinaie/>



**創業年**：1985年

#### ドメーヌ解説：

フォンテレオーニとほかの数件の造り手とともにテヌータ・レ・カルチナイエは、ヴェルナッチャに高品質のワインが復活したことを示している。高品質志向のヴェルナッチャという考えは、一世代前には誰も顧みなかったものである。

シモーネ・サンティーニは働き者で、一人でこのカンティーナをきりもりしている。典型的なトスカーナ人らしいユーモアのセンス、— 鋭さ、軽さ、刺激 — があり、彼が造るヴェルナッチャによく似ている。彼のワインを見れば、サン・ジミニャーノがなぜ最初に DOC を得たかがわかる。ソアーヴェ・オルヴィエートとともにヴェルナッチャ・ディ・サンジミニャーノは、イタリアの白ワインの中で傑出しているという名声を裏付けるようなワインだからだ。

そのワインは華やかさと神経質さを併せもち、しっかりした骨格がありながら澆刺としている。しかもアフターはなめらかでヴェルナッチャ酒の独特なほろ苦いアーモンドのタッチがある。カルチナイエのヴェルナッチャはいわばコケティッシュな可愛い女性で、生産量は少ないが、もっと欲しくなってしまう。ヴェルナッチャ - ヴィーニャ・アイ・サッシは単一畑の産で、取れる量はもっと少ない。こちらは一部樽発酵で、控えめで静かなおもむきがある。

シモーネ・サンティーニの赤ワインにぞっこん惚れた人も少なくない。キアンティ・コッリ・セネージ（無清澄、無濾過）はサン・ジミニャーノの気候とテロワールが生み出すしなやかサンジョヴェーゼの素晴らしい実例であり、気取らない柔らかな、大変親しみのある味わいがする。テオドーロはこの華である。芳醇で凝縮した味わいのこのワインは、メルロとカベルネ、サンジョヴェーゼの混醸ワインで小樽熟成させた、見事な出来映えだ。

マルク・デ・グラツィア・セレクション

Fine Wines 2005 より

**栽培品種**：ヴェルナッチャ、サンジョヴェーゼほか

**自社畑面積**：12ha

**生産量**：70,000本/年